

働く皆さんの福利厚生をサポート

「タンポポ」の愛称で親しまれ、働く人の福利厚生をお手伝いする『(公財)燕西蒲勤労者福祉サービスセンター』。そこで事務局長を務める田辺美香子さんに、女性管理職としての心構え、事業内容について伺いました。



たなべ みかこ 田辺美香子さん(大曲在勤)

● (公財) 燕西蒲勤労者福祉サービスセンター 事務局長

「私が管理職としてリーダーシップを取ることができているのか、最初はとて不安でした」
昨年の4月にタンポポの事務局長に就任したときの心境を語る田辺さん。「リーダーだからと肩ひじを張らず、一人で抱え込まないで力を合わせて進めることを大切にしています」
日々、楽しく、前向きに仕事を進めることを職場のみなさんから学んでいるそうです。
また、職員が仕事にやりがいを持っているように、「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向けて、取り組みを推進しています。「ハウレンソウ(報告・連絡・相談)」を徹底し、情報共有を図ることを常に意識しています。



◀リーダーシップを取りながら打ち合わせを進める田辺さん

タンポポの詳細はこちら▼



◀会員証の提示でさまざまなサービスを受けられます

「この事業は、福祉共済として昭和48年に会員2373人でスタートしました。現在の会員数は過去最高の9110人で、1万人を目標としています。燕市・弥彦村で働く人が、充実した日々を送ることができるよう、慶弔給付金の支給や店舗・施設などで割引などが受けられる会員証提示サービス、人間ドック補助などさまざまな福利厚生サービスを提供しています」
田辺さんに今後の意気込みを伺いました。
「新たな会員の勧誘、そして、『タンポポ会員で良かった!』と言われるような事業展開をしていきたいですね。この地域の皆さんの仕事と私生活がともに充実していくと嬉しいです」

紙上ブログ

燕市長 鈴木力



「つばめ産学協創スクエア事業」が、「学生が選ぶキャリアアデザインプログラムワード」で「地方創生賞を受賞しました。今年2月に「燕市役所まちあそび部」が「ふるさとづくり大賞」を受賞したのに続く快挙です。

日本全国・海外から学生を受け入れ、課題解決型から就職体験型まで多様なプログラムを提供するとともに、宿泊施設で学生同士の交流が生まれていること、さらに受入企業や地域住民にとっても関係人口増加や街に活気が生まれている点が評価されました。
今後も日本一輝いているまちを目指していきたいでしょう。

◀こちらは有料広告です。

高速光インターネット

まとめおトクなセットプランあります!

インターネット + ケーブルテレビ + 固定電話

68,000 世帯

燕・分水・吉田 エリア お申し込み好評受付中!

0120-080-009

電話受付時間 9:30~17:30 (ドコモ光タイプCに関しては10:00~19:00) ※上記時間以外・土日祝・お盆期間・年末年始は時間外受付に転送されます。

※この広報紙は、環境にやさしいペジタブル・オイル・インクを使用しています。